

業種別業界景気動向調査結果

令和5年度 第2四半期(令和5年7月～9月期)調査

概要

1. 調査の目的 四半期ごとに調査を行い、短期的な景気動向を把握する。
2. 調査基準日 令和5年9月1日
3. 調査対象 当所管内の中小企業等より 138 社を抽出。
4. 回答企業数 129 社(回答率 93.5%)

業種別内訳	製造業	25 社	建設業	20 社
	卸売業	12 社	小売業	35 社
	サービス業	26 社	その他	11 社
規模別内訳	大企業	1 社	中小企業	120 社
	業界団体	8 団体		

* 期間表記について

「今 期」: 令和5年7月～9月

「前年同期」: 令和4年7月～9月

「前 期」: 令和5年4月～6月

「来 期」: 令和5年10月～12月

* DI値(景気動向指数)について

DI値は、売上、採算、業況などの各項目についての判断の状況を表す指数である。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、

マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、

売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な

広がりを意味する。

$$DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$$

I. 概況（全業種）今期（令和5年7月～9月）の概要

景気判断DIは、前年同期比においてはプラス幅が拡大したものの

前期比及び来期見通しは一転して、マイナス値に転じた。

前年同期比では、製造業とサービス業で悪化したものの、他業種においては改善した。

前期比では、全業種悪化した。特に建設業と卸売業において大きく悪化した。

来期見通しでは、小売業では改善の見通しであるが、卸売業とその他の業種で大きく悪化の見通しとなっている。

業種を問わず、仕入価格や人件費など、コスト上昇を懸念するコメントが見られた。

項目	前年同期比DI			前期比DI			来期(先行)見通しDI		
	比較	DI	判断	比較	DI	判断	比較	DI	判断
景気判断	↑	6.8	プラス幅拡大	↓	▲ 12.8	マイナス値に転じる	↓	▲ 0.9	マイナス値に転じる
業况判断	↓	▲ 12.8	マイナス幅拡大	↓	▲ 13.7	マイナス幅拡大	↓	▲ 15.4	マイナス幅拡大
売上高	↓	3.4	プラス幅縮小	↓	▲ 11.1	マイナス幅拡大	↑	5.1	プラス幅拡大
資金繰り	↓	▲ 13.7	マイナス幅拡大	↓	▲ 11.1	マイナス値に転じる	↓	▲ 11.1	マイナス幅拡大
採算〔経常利益〕	↓	▲ 23.1	マイナス幅拡大	-	-	-	↑	▲ 12.0	マイナス幅縮小
仕入単価	↓	▲ 60.7	マイナス幅拡大	-	-	-	↓	▲ 50.4	マイナス幅拡大
雇用	↑	18.8	プラス幅拡大	-	-	-	↑	17.9	プラス幅拡大
事業資金借入難度	↑	0.0	プラス値に転じる	↑	▲ 2.6	マイナス幅縮小	↑	▲ 3.4	マイナス幅縮小
借入金利	↓	▲ 6.0	マイナス値に転じる	↓	▲ 6.0	マイナス値に転じる	↓	▲ 2.6	マイナス幅拡大



【サービス業】

景気判断	業況判断	売上高	資金繰り	採算	仕入単価	雇用	借入難度	借入金利
↘	↓	↗	→	↓	↓	↗	↑	↓

- ・仕入価格上昇が利益を圧縮（エステティック業）
- ・例年通りではあるが、7月、8月は好調に推移しても9月は先行きが見えないほど悪化する。（ビジネスホテル・喫茶レストラン）
- ・機材等の仕入価格が月単位で上昇しており、価格転嫁が間に合わないケースも出てきている。（制御系ソフト・画像処理ソフト・RFID関連ソフト作成）

【その他の業】

景気判断	業況判断	売上高	資金繰り	採算	仕入単価	雇用	借入難度	借入金利
↑	↑	↑	↓	↗	↓	↓	↗	→

- ・個人消費が回復しておらず、四国内の貨物は減少傾向。（倉庫業）
- ・売上高に大きな変化はないものの、コスト増加により利益率は下落。（不動産取引業）
- ・燃料価格及び人件費の上昇、働き方改革への対応から従業員の稼働時間を削減したことによる減収など不安材料ばかりで、あちこちから廃業も視野にある、との声を聞く。（貨物運送取扱業 [集配利用運送業除く]）

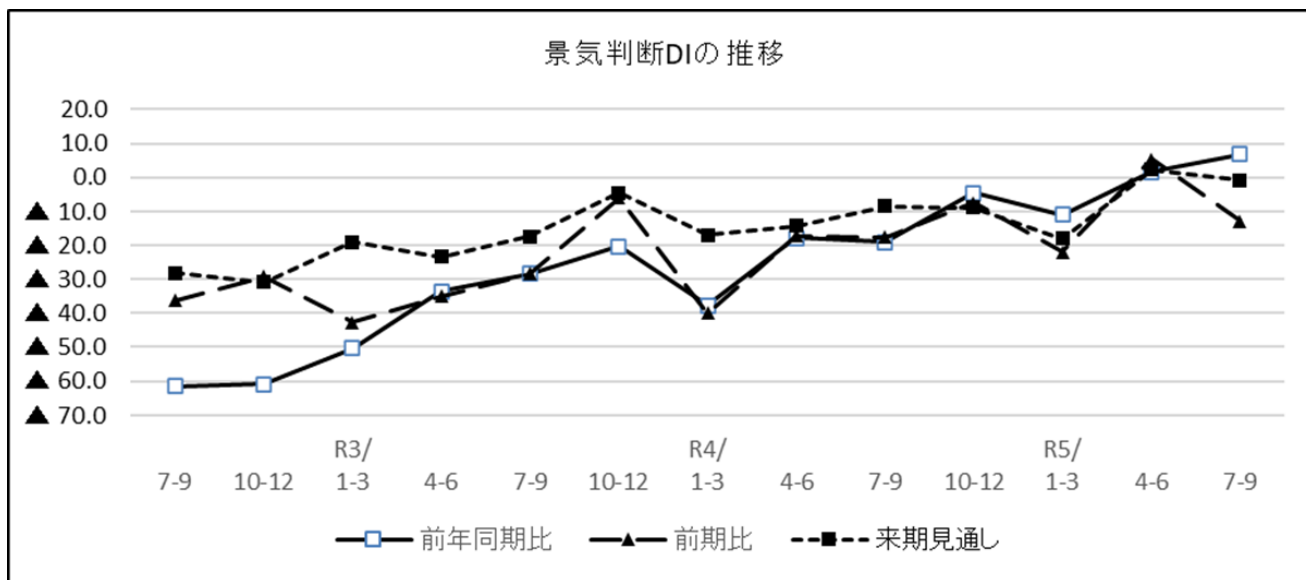
1. 〈管内景気動向〉

景気判断 景気判断DI（「上昇した企業割合」－「下降した企業割合」の指数）

前年同期比：全業種合計の景気判断DIは6.8ポイント。前回調査（1.6）より5.2ポイントプラス幅が拡大した。

前期比：DIは、▲12.8ポイント。前回調査（5.4）より18.2ポイントマイナス値に転じた。

来期（先行き）見通し：DIは、▲0.9ポイント。前回調査（2.3）より3.2ポイントマイナス値に転じた。



		7-9	10-12	R3/1-3	4-6	7-9	10-12	R4/1-3	4-6	7-9	10-12	R5/1-3	4-6	7-9
全業種	前年同期比	▲61.5	↑ ▲60.8	↑ ▲50.4	↑ ▲33.6	↑ ▲28.3	↑ ▲20.3	↓ ▲37.7	↑ ▲17.9	↓ ▲19.1	↑ ▲4.5	↓ ▲10.9	↑ 1.6	↑ 6.8
	前期比	▲36.3	↑ ▲29.2	↓ ▲42.7	↑ ▲35.0	↑ ▲28.3	↑ ▲6.0	↓ ▲40.0	↑ ▲17.2	↓ ▲17.6	↑ ▲7.5	↓ ▲21.9	↑ 5.4	↓ ▲12.8
	来期見通し	▲28.1	↓ ▲30.8	↑ ▲19.1	↓ ▲23.4	↑ ▲17.4	↑ ▲4.5	↓ ▲16.9	↑ ▲14.2	↑ ▲8.4	↓ ▲9.0	↓ ▲18.0	↑ 2.3	↓ ▲0.9
製造業	前年同期比	▲59.3	↓ ▲80.8	↑ ▲66.7	↑ ▲33.3	↑ ▲11.1	↓ ▲15.4	↓ ▲20.0	↑ ▲15.4	↓ ▲28.0	↑ ▲3.8	↓ ▲16.7	↑ 11.5	↓ 0.0
	前期比	▲33.3	↑ ▲30.8	↓ ▲59.3	↑ ▲25.9	↑ ▲11.1	↑ 11.5	↓ ▲32.0	↑ ▲26.9	↑ ▲20.0	↑ ▲7.7	↓ ▲29.2	↑ ▲7.7	↓ ▲12.0
	来期見通し	▲18.5	↓ ▲26.9	↓ ▲29.6	↑ ▲14.8	↑ 18.5	↓ ▲7.7	↑ ▲4.0	↓ ▲15.4	↓ ▲16.0	↓ ▲19.2	↓ ▲20.8	↑ 0.0	↓ ▲12.0
建設業	前年同期比	▲52.4	↑ ▲47.4	→ ▲47.4	↓ ▲57.1	↑ ▲38.1	↑ ▲28.6	↓ ▲45.0	↑ ▲42.9	↓ ▲50.0	↑ ▲20.0	↓ ▲23.8	↑ ▲20.0	↑ ▲15.4
	前期比	▲42.9	↓ ▲52.6	↑ ▲42.1	↓ ▲52.4	↑ ▲42.9	↑ ▲23.8	↓ ▲35.0	↑ ▲28.6	↓ ▲35.0	↑ ▲15.0	↓ ▲23.8	↑ ▲5.0	↓ ▲46.2
	来期見通し	▲42.9	↓ ▲47.4	↑ ▲31.6	↓ ▲57.1	↑ ▲33.3	↑ ▲28.6	↓ ▲35.0	↓ ▲42.9	↑ ▲15.0	↓ ▲30.0	↓ ▲33.3	↑ ▲15.0	↑ ▲7.7
卸売業	前年同期比	▲28.6	→ ▲28.6	↓ ▲71.4	↑ ▲21.4	↓ ▲35.7	↑ ▲15.4	↓ ▲28.6	↑ 0.0	↓ ▲23.1	↑ 0.0	↓ ▲16.7	↓ ▲27.3	↑ ▲18.2
	前期比	▲28.6	→ ▲28.6	↓ ▲35.7	↑ ▲14.3	↓ ▲28.6	↑ 0.0	↓ ▲21.4	↑ ▲7.1	↓ ▲15.4	↓ ▲23.1	↓ ▲25.0	↑ 36.4	↓ ▲9.1
	来期見通し	▲7.1	↓ ▲35.7	↑ ▲21.4	→ ▲21.4	↓ ▲35.7	↑ 15.4	↓ ▲14.3	↑ ▲7.1	↓ ▲23.1	↑ 7.7	↓ ▲16.7	↑ 9.1	↓ ▲9.1
小売業	前年同期比	▲83.8	↑ ▲66.7	↑ ▲42.9	↑ ▲26.3	↓ ▲39.5	↑ ▲32.4	↓ ▲48.6	↑ ▲22.2	↑ ▲5.4	↑ 2.7	↓ 0.0	→ 0.0	↑ 12.9
	前期比	▲45.9	↑ ▲30.6	↓ ▲37.1	↓ ▲39.5	→ ▲39.5	↑ ▲21.6	↓ ▲57.1	↑ ▲22.2	↑ ▲8.1	→ ▲8.1	↑ ▲2.8	↓ ▲8.8	↓ ▲12.9
	来期見通し	▲29.7	↑ ▲25.0	↑ ▲17.1	↑ ▲10.5	↓ ▲31.6	↑ ▲2.7	↓ ▲22.9	↑ ▲13.9	↑ ▲5.4	↓ ▲8.1	↓ ▲16.7	↑ ▲5.9	↑ 3.2
サービス業	前年同期比	▲50.0	↓ ▲53.8	↑ ▲36.0	↑ ▲29.6	↑ ▲22.2	↑ ▲7.7	↓ ▲32.0	↑ ▲14.8	↑ 0.0	↓ ▲7.7	→ ▲7.7	↑ 25.9	↓ 21.4
	前期比	▲34.6	↑ ▲15.4	↓ ▲48.0	↑ ▲33.3	↑ ▲22.2	↑ 7.7	↓ ▲36.0	↑ ▲7.4	↓ ▲19.2	↑ 7.7	↓ ▲38.5	↑ 37.0	↓ 3.6
	来期見通し	▲42.3	↑ ▲23.1	↑ ▲16.0	↓ ▲33.3	↑ ▲14.8	↑ 7.7	↓ 0.0	→ 0.0	↑ 3.8	↑ 7.7	↓ 0.0	↑ 22.2	↓ 14.3
その他の業	前年同期比	▲80.0	↑ ▲77.8	↑ ▲45.5	↑ ▲40.0	↑ ▲18.2	↑ ▲10.0	↓ ▲54.5	↑ 10.0	↓ ▲30.0	↑ 0.0	↓ ▲11.1	↑ ▲9.1	↑ 22.2
	前期比	▲10.0	↓ ▲11.1	↓ ▲18.2	↓ ▲40.0	↑ ▲18.2	↑ 0.0	↓ ▲45.5	↑ 10.0	↓ ▲10.0	↑ ▲9.1	↓ ▲22.2	↑ ▲9.1	↓ ▲22.2
	来期見通し	▲10.0	↓ ▲44.4	↑ 18.2	↓ 0.0	↓ ▲9.1	↓ ▲10.0	↓ ▲36.4	↑ 0.0	→ 0.0	↓ ▲9.1	↓ ▲33.3	↑ 9.1	↓ ▲11.1

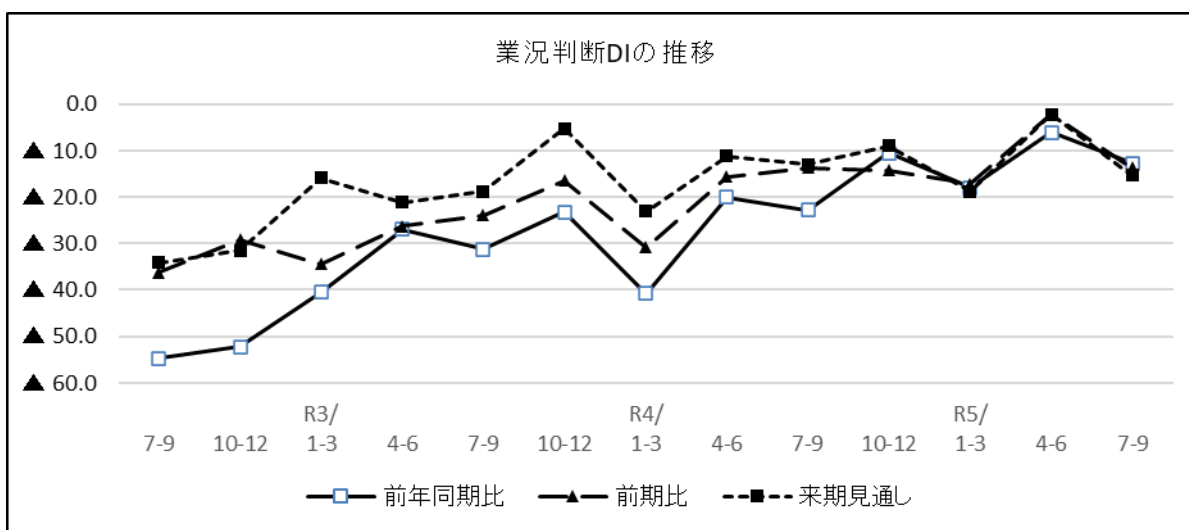
2. 〈企業経営動向〉

(1) 業況判断 業況判断D I (「好転した企業割合」－「悪化した企業割合」の指数)

前年同期比：業況判断D Iは、▲12.8ポイント。前回調査(▲6.2)より6.6ポイントマイナス幅が拡大した。

前期比：D Iは、▲13.7ポイント。前回調査(▲2.3)より11.4ポイントマイナス幅が拡大した。

来期(先行き)見通し：D Iは、▲15.4ポイント。前回調査(▲2.3)より13.1ポイントマイナス幅が拡大した。

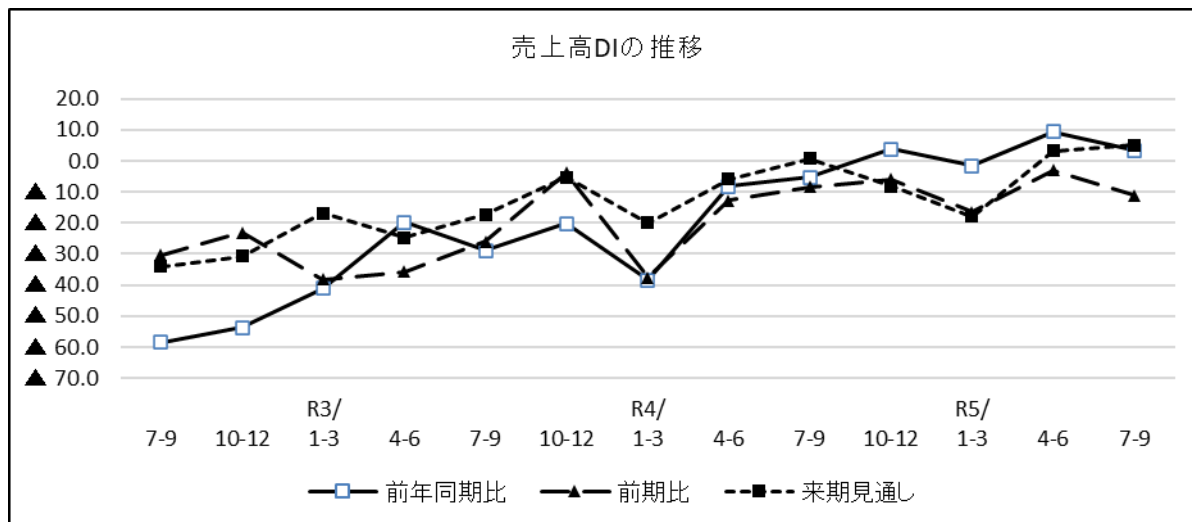


(2) 売上高〔受注額〕 売上高D I (「増加した企業割合」－「減少した企業割合」の指数)

前年同期比：売上高D Iは、3.4ポイント。前回調査(9.3)より5.9ポイントプラス幅が縮小。

前期比：D Iは、▲11.1ポイント。前回調査(▲3.1)より8.0ポイントマイナス幅が拡大した。

来期(先行き)見通し：D Iは、5.1ポイント。前回調査(3.1)より2.0ポイントプラス幅が拡大した。

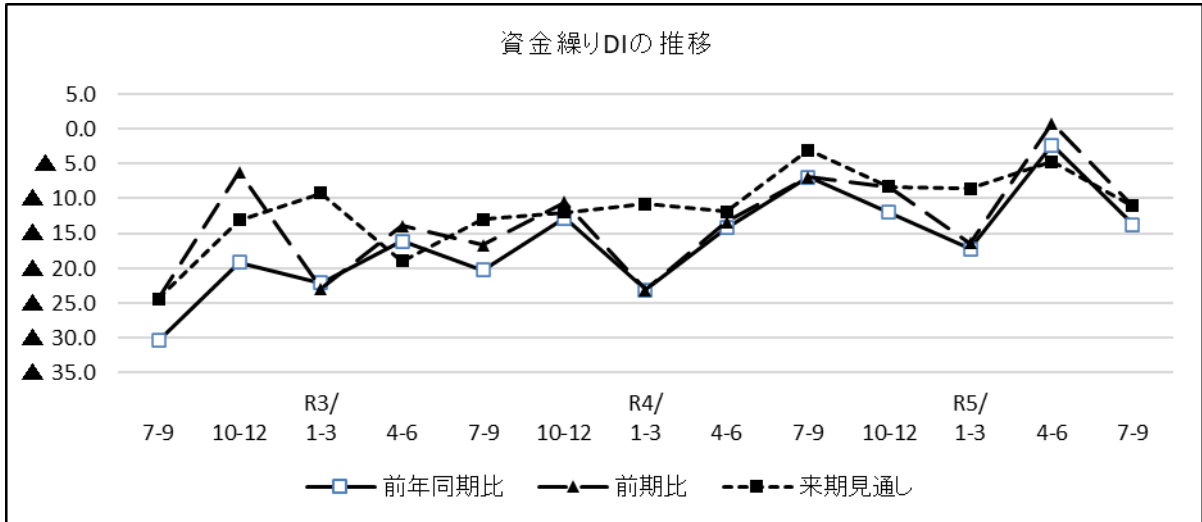


(3) 資金繰り 資金繰りDI（「好転した企業割合」－「悪化した企業割合」の指数）

前年同期比：資金繰りDIは、▲13.7ポイント。前回調査（▲2.3）より11.4ポイントマイナス幅が拡大した。

前期比：DIは、▲11.1ポイント。前回調査（0.8）より11.9ポイントマイナス値に転じた。

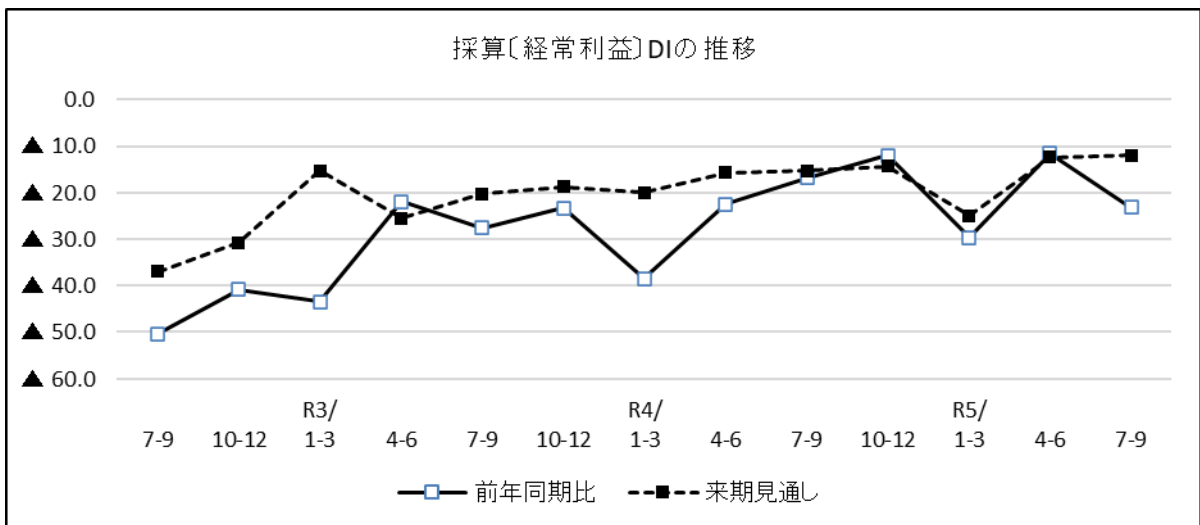
来期（先行き）見通し：DIは、▲11.1ポイント。前回調査（▲4.7）より6.4ポイントマイナス幅が拡大した。



(4) 採算〔経常利益〕 採算DI（「好転した企業割合」－「悪化した企業割合」の指数）

前年同期比：採算DIは、▲23.1ポイント。前回調査（▲11.6）より11.5ポイントマイナス幅が拡大した。

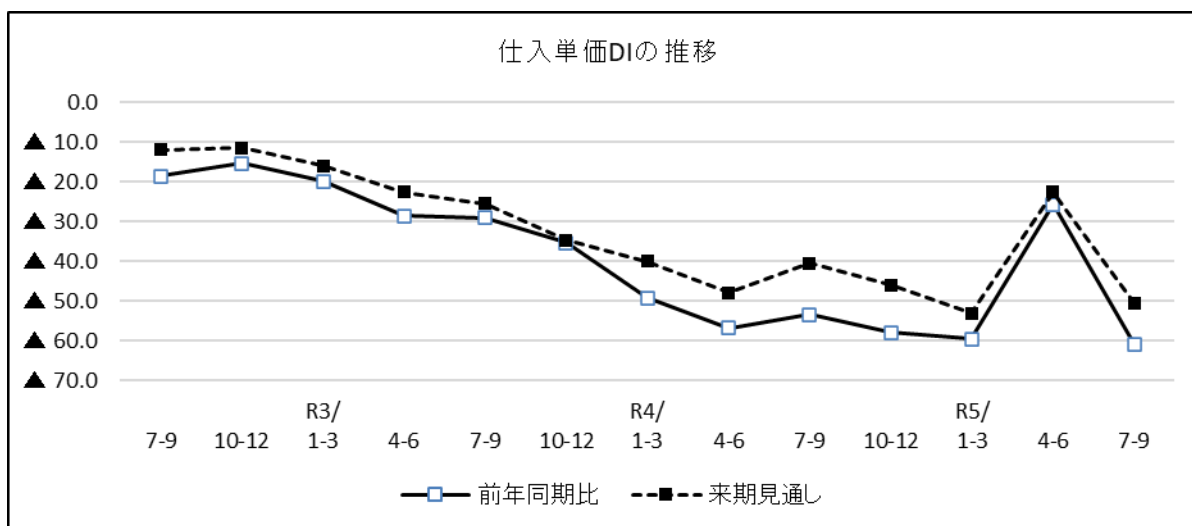
来期（先行き）見通し：DIは、▲12.0ポイント。前回調査（▲12.4）より0.4ポイントマイナス幅が縮小した。



(5) 仕入単価 仕入単価DI（「下落した企業割合」－「上昇した企業割合」の指数）

前年同期比：仕入単価DIは、▲60.7ポイント。前回調査（▲25.6）より35.1ポイントマイナス幅が拡大した。

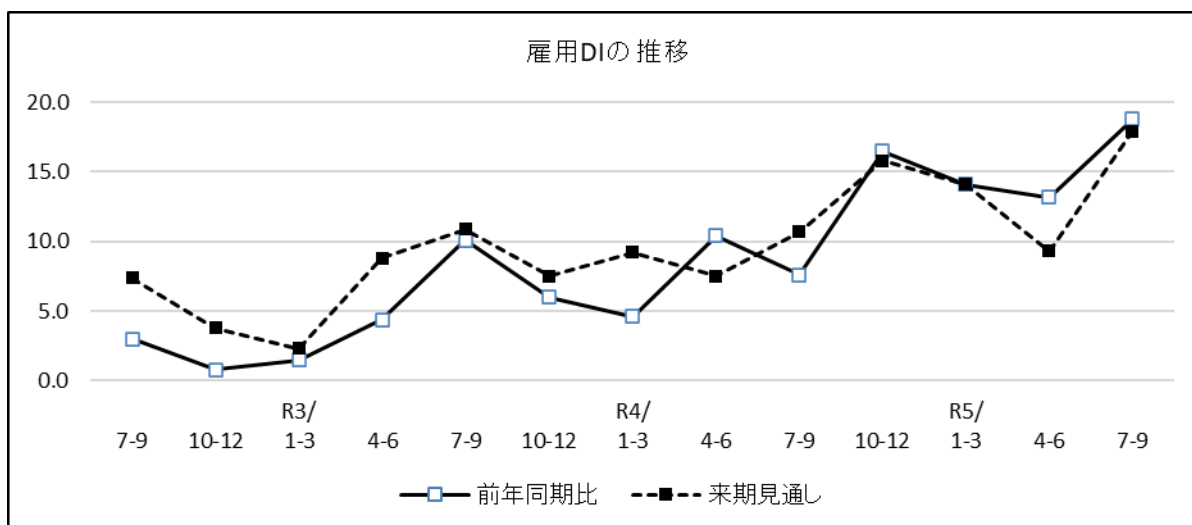
来期（先行き）見通し：DIは、▲50.4ポイント。前回調査（▲22.5）より27.9ポイントマイナス幅が拡大した。



(6) 雇用 雇用DI（「不足気味の企業割合」－「過剰気味の企業割合」の指数）

前年同期比：雇用DIは、18.8ポイント。前回調査（13.2）より5.6ポイントプラス幅が拡大した。

来期（先行き）見通し：DIは、17.9ポイント。前回調査（9.3）より8.6ポイントプラス幅が拡大した。

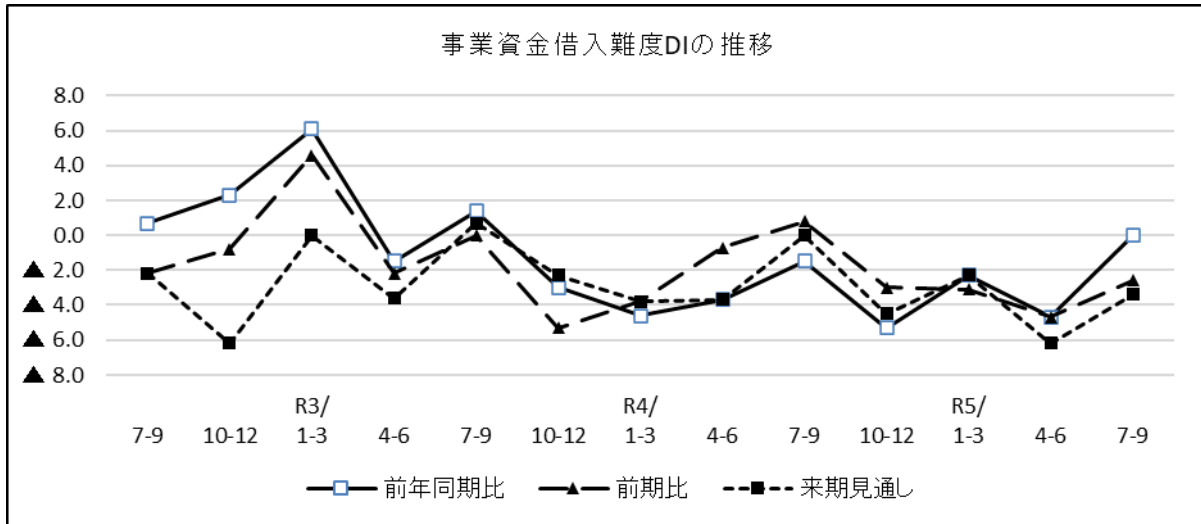


(7) 事業資金借入難度 事業資金借入難度DI（「ゆるやかな企業割合」－「きびしい企業割合」の指数）

前年同期：事業資金借入難度DIは、前回調査（▲4.7）から変動なし。

前期比：DIは、▲2.6ポイント。前回調査（▲4.7）より2.1ポイントマイナス幅が縮小した。

来期（先行き）見通し：▲3.4ポイント。前回調査（▲6.2）より2.8ポイントマイナス幅が縮小した。

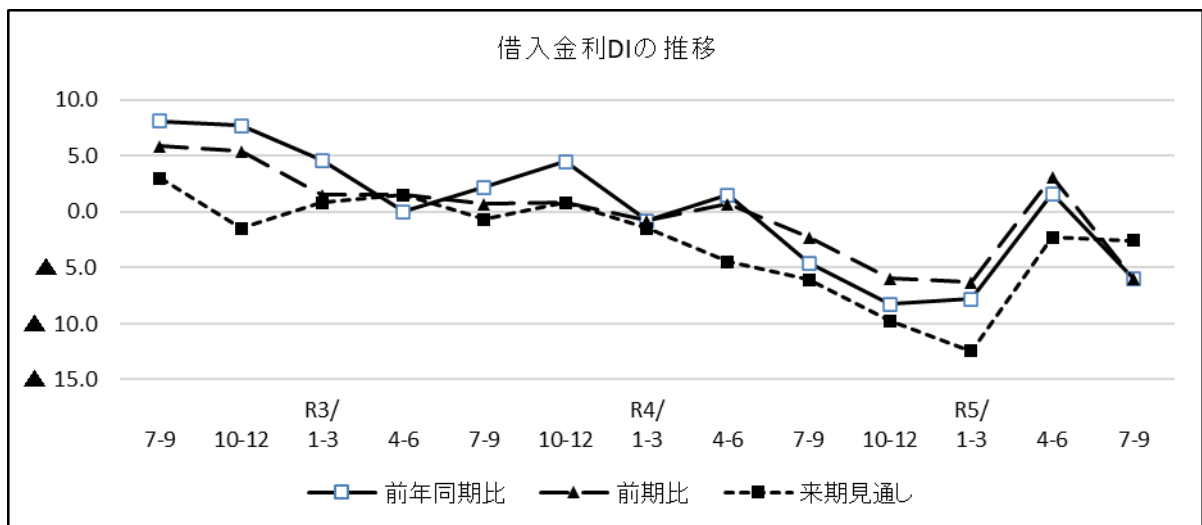


(8) 借入金利 借入金利DI（「下落した企業割合」－「上昇した企業割合」の指数）

前年同期比：借入金利DIは、▲6.0ポイント。前回調査（1.6）より7.6ポイントマイナス値に転じた。

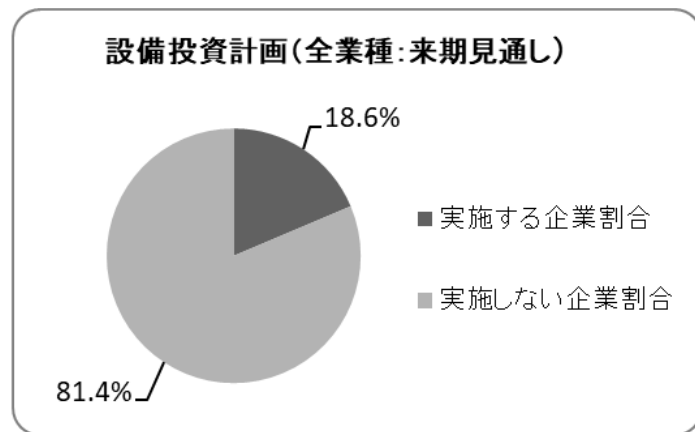
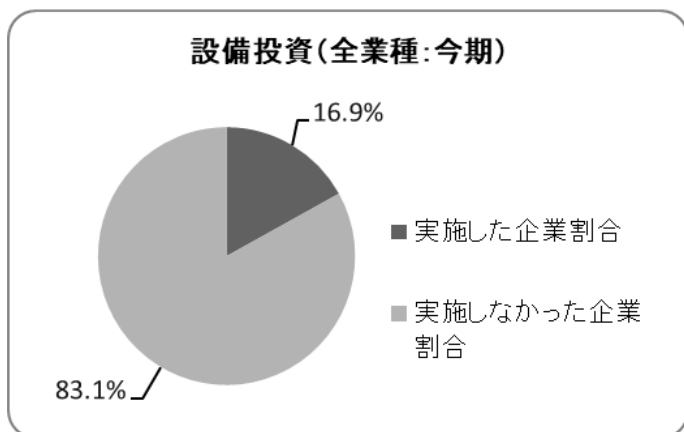
前期比：DIは、▲6.0ポイント。前回調査（3.1）より9.1ポイントマイナス値に転じた。

来期（先行き）見通し：DIは、▲2.6ポイント。前回調査（▲2.3）より0.3ポイントマイナス幅が拡大した。



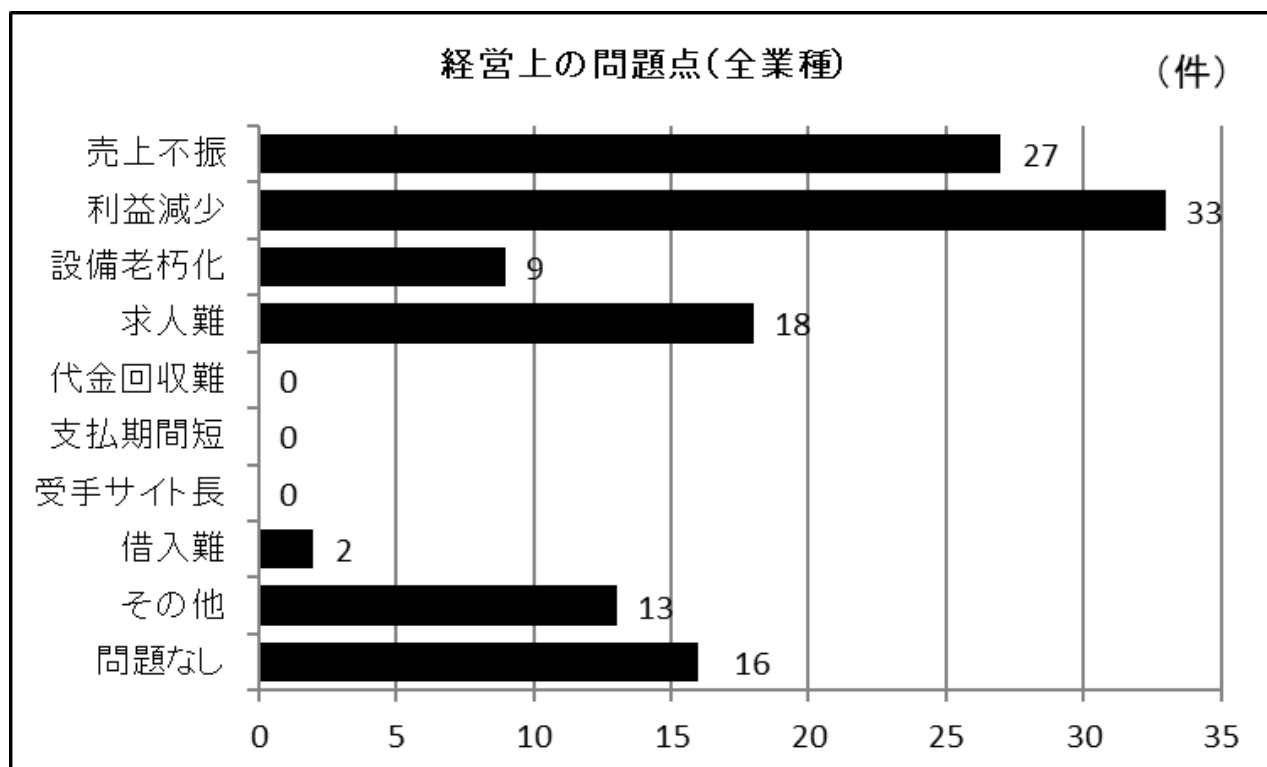
(9) 設備投資

今期設備投資を実施したと回答した企業は 16.9%となり、前回調査（7.7%）より 9.2ポイント上昇した。また、来期設備投資を計画している企業は、18.6%となり、前回調査（10.8%）より 7.8ポイント上昇した。



3. 〈経営上の問題点〉

経営上の問題点として、最も多く挙げられているのは「利益減少（33件）」。次いで「売上不振（27件）」、「求人難（18件）」となっている。コメントでも多く見られた売上原価や経費の上昇をカバー出来ていない現状を表した結果といえる。



4. 当所管内業種別景況天気図（令和5年7月～9月期）

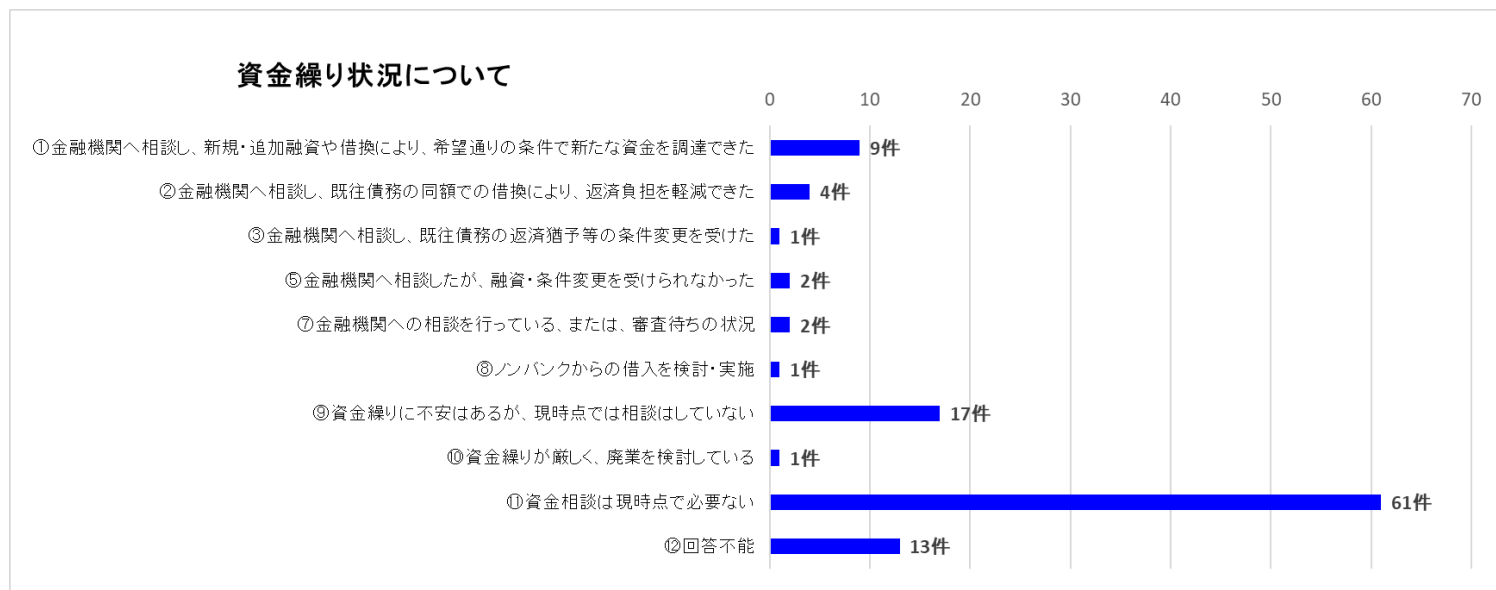
凡例					
	特に好転	好転	不変	悪化	特に悪化
DI値水準	>= +25.0	+24.9～+10.0	+9.9～-9.9	-10.0～-24.9	<= -25.0

業種別	景気判断			業況判断			売上高			資金繰り			採算	
	R5 7月～9月期		R5 10月 12月期	R5 7月～9月期		R5 10月 12月期	R5 7月～9月期		R5 10月 12月期	R5 7月～9月期		R5 10月 12月期	R5 7月～9月期 10月 12月期	
	前年 同月比	前期 比	見 通し	前年 同月比	前期 比	見 通し	前年 同月比	前期 比	見 通し	前年 同月比	前期 比	見 通し	前年 同月比	見 通し
	全業種													
製造業														
建設業														
卸売業														
小売業														
サービス業														
その他の業														

【付帯調査】

(1) 資金繰り状況について

最も回答数が多かったものは「資金相談は現時点で必要ない」で61件、次いで「資金繰りに不安はあるが、現時点では相談はしていない」の17件であった。収益状況に不安を抱える事業者が多い状況ではあるが、資金繰りに影響を及ぼすには至っていないという結果となった。ゼロゼロ融資導入により資金繰りが改善した可能性や、ゼロゼロ融資が据置期間中である可能性が考えられる。



(2) コロナ対策の実質無利子・無担保融資 ※通称「ゼロゼロ融資」について

「利用していない」と回答した企業が64件で全体のおよそ61%を占めている結果となった。

